

令和2年度入学生 生活創造学科ビジネス・医療秘書コース カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

| 科目コード | 科目名 | 担当者 | 開講時期 | 科目の主題 | 到達目標 | 学修成果との関連(大◎、中○、小△) | | | | | |
|--------|---------|-----------------|-----------------|--|---|--------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------|---|--------------------------------------|--------------------------------------|
| | | | | | | 1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力 | | 2.「創造」 高度な知性と 創造力 | | 3.「実践」 明確な意思と 実践力 | |
| | | | | | | ① 誠 実 性 ・ 真 摯 性 | ② 多 様 性 ・ 協 働 性 | ③ 知 識 ・ 技 能 | ④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力 | ⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性 | ⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力 |
| 20L010 | 現代社会と女性 | 玉島 健二 | 1年次通年・2 年次前期 | 2年間で15回の授業です。この科目は、卒業後に社会人となる皆さんに、社会人として必要な基本的素養及び学生生活を送る上で必要な基礎を学んでもらうために開設しています。学生の皆さんには多面的で、柔軟なものの見方、考え方、行動力などを身に付けてほしいと願っています。 | 現代に生きる女性に必要な素養、考え方、生き方等を身に付ける 命と人権を考え、お互いを大切にすることと行動力を身に付ける 仕事や職業について理解し、人としての生きる力を身に付ける | ◎ | ◎ | △ | ◎ | ◎ | ○ |
| 20L020 | 長崎観光入門 | 玉島 健二 | 2年次前期 | 独自の歴史と文化を有する長崎市に所在する短期大学に学ぶ者として、また、卒業後に観光県長崎で勤務する社会人として、必要な素養を身に付ける。 | 長崎の歴史・文化・産業・経済等についての理解を深める 1. に関する事項を県外等からの来訪者に説明できる力を養う 社会人として必要な知識、技能、態度を身に付ける | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ |
| 20L030 | 日本文化概論 | 大町 福美 久保 美洋子 | 1年次後期 | 華道:数百年という悠久の時の流れの中で結実した世界に誇れる文化です。日本の美しい四季を通して「日本のこころ」について学びます。 茶道:茶の湯の芸術性、精神性にふれ、伝統文化・自己表現としての「お茶の世界やその心」を知る。茶道の文化体系としての構造や成り立ちを知り、茶の湯に関わる基本的知識等を学ぶ。 | 自由花を個性豊かにいけることにより、「表現の喜びや感動」を味わう。 いけばなの成り立ち、基本的知識や表現の仕方を学ぶ。 茶の湯の芸術性・精神性にふれ、伝統文化・コミュニケーションとしての「茶の世界やその心」を知る。 茶道の文化体系としての構造や成り立ちを知り、茶の湯に関わる基本的知識などを学ぶ。 | ○ | | ○ | | ○ | |
| 20L040 | ヒトと生物 | 松尾 公則 | 2年次前期 | ヒトは地球生態系の中の一員であり、他の動物や植物との連携なしには生きていくことはできません。「ヒトと生物」では、身近な動物を通じて、生態系のことを学びます。 | 身近な動物の生態を知ることで、生物について学ぶ楽しさを確認する。 ヒトと野生動物の関わりを知ることで、自然との付き合い方を知る。 ヒトは地球生態系の中の一員として生き続けていることを認識する。 | △ | ◎ | ◎ | ○ | △ | △ |
| 20L050 | 心理学 | 福井 謙一郎 | 2年次後期 | 日本社会の特徴とそこで生活する人々の心や行動の様相が密接な関わりを持っていることを理解する。 | 行動科学の観点から人の心を捉えることができる。 日本社会が持っている規範や価値観に関する特徴を理解する。 日本社会の特徴を踏まえながら、人の心や行動のメカニズムを理解する。 | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ◎ |

令和2年度入学生 生活創造学科ビジネス・医療秘書コース カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

| 科目コード | 科目名 | 担当者 | 開講時期 | 科目の主題 | 到達目標 | 学修成果との関連(大◎、中○、小△) | | | | | |
|--------|--------|--------|-------|--|--|--------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------|---|--------------------------------------|--------------------------------------|
| | | | | | | 1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力 | | 2.「創造」 高度な知性と 創造力 | | 3.「実践」 明確な意思と 実践力 | |
| | | | | | | ① 誠 実 性 ・ 真 摯 性 | ② 多 様 性 ・ 協 働 性 | ③ 知 識 ・ 技 能 | ④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力 | ⑤ 主 体 性 ・ 自 立 性 | ⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力 |
| 20L060 | 経済学 | 林 徹 | 2年次後期 | 資産運用の感覚をボードゲーム(モノポリー)を通して体得する。他方で、ホットな経済トピックや身近な事例を取り上げて、専門的な考え方や見方の基本を講義する。 | 資産としての不動産に関する基礎的な知識を理解する。 | ◎ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ |
| | | | | | 資産取引に関する専門知識の全体像を理解する。 | | | | | | |
| | | | | | 取引における交渉の基本を体得する。 | | | | | | |
| | | | | | ボードゲーム(モノポリー)の公式ルールを理解する。 | | | | | | |
| | | | | | ホットな経済トピックや身近な事例を多面的に解釈する。 | | | | | | |
| 20L070 | 日本国憲法 | 太田 久美子 | 2年次後期 | 日本国憲法の基本的事項について理解し、「権利」とは何か、なぜ権利を護らなければならないのか等ということについて、自らの力で考える力を養うことを目指します。 | 憲法の用語の正しい理解から、その理念を把握する。 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | |
| | | | | | 権利と義務の関係を理解し、適切な権利行使を可能にする。 | | | | | | |
| | | | | | 権利と義務を理解し、弱者や価値観の違いを受容する土台を作る。 | | | | | | |
| | | | | | 憲法(法律)によって裏付けられた世の中の仕組みを理解する。 | | | | | | |
| 20L080 | 生活と音楽 | 福井 昭史 | 2年次後期 | 社会人として必要な、音楽の理解力を一般教養として身に付ける。人々の生活と音楽との関わりについての理解を深める。音楽の仕組みを理解し創造的な表現の活動を体験する。 | 一般教養としての音楽の知識や歴史を理解し、音楽への興味や関心を高める。 | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ |
| | | | | | 人々の生活と音楽との関わりを理解する。 | | | | | | |
| | | | | | リズムや旋律など音楽の仕組みを理解する。 | | | | | | |
| | | | | | 創造的に表現する力を身に付ける。 | | | | | | |
| 20L090 | 生活とアート | 織田 芳人 | 1年次前期 | 日常の生活の中で接している様々な美術をより深く理解する。 | 美術に関する基礎的な知識を身につけて、様々な美術の基本的概念を理解することができる。 | △ | ◎ | ◎ | △ | ◎ | |
| | | | | | 生活の中に見出される様々な美術を再認識することによって、美術の理解を深める。 | | | | | | |

令和2年度入学生 生活創造学科ビジネス・医療秘書コース カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

| 科目コード | 科目名 | 担当者 | 開講時期 | 科目の主題 | 到達目標 | 学修成果との関連(大◎、中○、小△) | | | | | |
|--------|--------|--------|-------|--|---|--------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------|---|--------------------------------------|--------------------------------------|
| | | | | | | 1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力 | | 2.「創造」 高度な知性と 創造力 | | 3.「実践」 明確な意思と 実践力 | |
| | | | | | | ① 誠 実 性 ・ 真 摯 性 | ② 多 様 性 ・ 協 働 性 | ③ 知 識 ・ 技 能 | ④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力 | ⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性 | ⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力 |
| 20L100 | 生活と書 | 北山 千代子 | 2年次後期 | 書の歴史・理論・技法・鑑賞・表現などを考究する。 | 文字の歴史を学ぶことによって、伝統文化としての「書」の存在意識を理解する。 「美しい文字」を鑑賞・練習することによって、感性を高め技法の上達にも努める。 朝日新聞「天声人語」等によって、読み・書き・話す能力を高める。 静聴できる態度(心構え・習慣)を体得する。 | ○ | △ | ◎ | ◎ | ○ | ○ |
| 20L110 | 生涯スポーツ | 宮崎 美保 | 1年次通年 | 生涯の推進や現状などを把握し、今後の生活設計を考え生涯にわたって自主的にスポーツを楽しみながら健康保持していけるようになることを目標とする。 | 運動の意義と必要性を理解することができる。 運動の実践を通じて、健康保持・体力の向上を図ることができる。 緊急事態の対処法を理解することができる。 | | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 20L120 | 英語 | 奈良 望 | 1年次通年 | 英語で書かれた情報に接することによって、情報獲得の手段としての英語に慣れる。それぞれのコースにかかわりのある内容の教材を用い、その要旨を掴むことで異文化理解を深める。また、オーラルの要素も導入して、毎回会話の練習にも挑戦してもらう。 | 英語で書かれた環境に触れることに慣れる。 日本語による解説を通して要旨を掴む習慣をつける。 日本語及び英語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。 海外事情を知ることで、視野を広げる。 | ○ | | ○ | | ○ | |
| 20L130 | 中国語 | 堺 蘭 | 1年次通年 | 外国語学習は、基礎固めが重要で、しっかりした基礎が固められれば、今後のステップアップが容易になる。本講義では学習者の中国語の基礎学習の一助となることに資する。 | 中国語の発音をしっかりと習得 初歩的な中国語文法を習得 簡単な中国語会話ができるようになる 中国文化に触れ、中国語への理解を深める | | | ◎ | | | |
| 20L140 | 韓国語 | 金 英泰 | 1年次通年 | 1. ハングル(韓国語)に親しくなり、読み方、書き方、発音、文法の基礎を学ぶ。ヒアリング・会話能力を習得する。 2. パソコン上で韓国語の文字入力およびインターネット検索ができるように学ぶ。 | ハングルを読む、書く、聞く、話すことができるようになる。 ハングルによる基本的ITリテラシーを身につける。 授業を通じて、韓国文化を学びながら国際的なコミュニケーション能力を高める。 | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | △ | △ |

令和2年度入学生 生活創造学科ビジネス・医療秘書コース カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

| 科目コード | 科目名 | 担当者 | 開講時期 | 科目の主題 | 到達目標 | 学修成果との関連(大◎、中○、小△) | | | | | |
|--------|---------|------|-------|--|--------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------|---|--------------------------------------|--------------------------------------|
| | | | | | | 1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力 | | 2.「創造」 高度な知性と 創造力 | | 3.「実践」 明確な意思と 実践力 | |
| | | | | | | ① 誠 実 性 ・ 真 摯 性 | ② 多 様 性 ・ 協 働 性 | ③ 知 識 ・ 技 能 | ④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力 | ⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性 | ⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力 |
| 20L310 | 情報リテラシー | 森 弘行 | 1年次前期 | 情報化社会の基礎を理解する。 | インターネット、コンピュータ・ネットワークの仕組みを理解する | | | | | | |
| | | | | | 電子メールやブラウザ、ファイル共有を活用できる | | ○ | ◎ | ◎ | | ○ |
| | | | | | ネットワーク社会でのマナーを理解する | | | | | | |
| | | | | | 情報セキュリティについて理解する | | | | | | |
| 20L320 | 数的理解 | 森 弘行 | 1年次後期 | ビジネス、情報処理で求められる計算能力を身につけ、数学的な考え方を理解する。 数学の楽しさを知る。 | 暗算、概算、計算の工夫ができる | | | | | | |
| | | | | | 情報活用に必要な数式を理解できる | | | ◎ | ◎ | | ○ |
| | | | | | 図形の認識ができる | | | | | | |
| 20L330 | 情報処理論 | 森 弘行 | 1年次後期 | コンピュータの基本的な仕組みと機能を理解し、コンピュータを活用する。 | 簡単な論理式を処理できる | | | | | | |
| | | | | | 制御装置の働き、加算器の原理を理解する | | | ◎ | ◎ | | |
| | | | | | 補助記憶装置の特性を理解する | | | | | | |
| | | | | | ファイル管理システムと管理ソフトの活用ができる | | | | | | |
| 20L340 | プログラミング | 森 弘行 | 2年次前期 | プログラミング言語の働きを知り、作成手順を理解する。 | プログラムが完成するプロセスを知る | | | | | | |
| | | | | | 各種アプリケーションの各種機能とプログラムの関係を知る | | | ◎ | ◎ | | |
| | | | | | アルゴリズムを理解する | | | | | | |
| 20L350 | ウェブデザイン | 森 弘行 | 2年次後期 | ホームページ制作の基礎を理解し、情報発信の基礎を知る。 | ウェブサイトの仕組みを理解する | | | | | | |
| | | | | | ホームページビルダーを用いてウェブページを作ることができる | | | | | | |
| | | | | | ファイル転送によりウェブページを公開することができる | | ○ | ◎ | ◎ | | |
| | | | | | アクセシビリティを考慮したページデザインができる | | | | | | |

令和2年度入学生 生活創造学科ビジネス・医療秘書コース カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

| 科目コード | 科目名 | 担当者 | 開講時期 | 科目の主題 | 到達目標 | 学修成果との関連(大◎、中○、小△) | | | | | |
|--------|------------|--------|-------|---|-----------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------|---|--------------------------------------|--------------------------------------|
| | | | | | | 1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力 | | 2.「創造」 高度な知性と 創造力 | | 3.「実践」 明確な意思と 実践力 | |
| | | | | | | ① 誠 実 性 ・ 真 摯 性 | ② 多 様 性 ・ 協 働 性 | ③ 知 識 ・ 技 能 | ④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力 | ⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性 | ⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力 |
| 20L360 | ビジネス文書作成1 | 濱口 なぎさ | 1年次前期 | ビジネス文書を作成するために必要な基礎的な知識と、Wordを使用した作成方法を習得する。 | ビジネス文書のライティング技術を学ぶ | ○ | | ◎ | | | ◎ |
| | | | | | 基本的な文書作成に必要なWordの操作技能を習得する | | | | | | |
| | | | | | Wordを活用し、図や表を含む文書の作成ができる | | | | | | |
| | | | | | Wordを活用し、既存文書の編集ができる | | | | | | |
| 20L370 | ビジネス文書作成2 | 濱口 なぎさ | 1年次後期 | ビジネス文書作成の応用的な知識と技能を修得する。具体的な内容は日商PC検定(文書作成)3級と2級に準拠する。 | 一般的なフォーマットでのビジネス文書が作成できる | ○ | | ◎ | | | ◎ |
| | | | | | 既存文書を用いて効率よくビジネス文書の作成ができる | | | | | | |
| | | | | | 図解や表を含んだ応用的なビジネス文書の作成・編集ができる | | | | | | |
| | | | | | ファイルの保管・保存について理解する | | | | | | |
| 20L380 | ビジネス文書作成3 | 濱口 なぎさ | 2年次前期 | 応用的なビジネス文書やプレゼン資料の作成方法を身につける。Microsoft Office Specialist や日商PC検定2級レベルのスキル修得が目標。 | 図解や表を活用した、多様な資料作成ができる | | | ◎ | ○ | | ○ |
| 20L390 | オフィス情報演習 | 濱口 なぎさ | 2年次後期 | ワープロ、表計算、プレゼンテーション、データベース等、オフィス用アプリケーションソフトの活用方法を学ぶ。 | 企画を立案するための情報収集、分析ができる | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | | | | | 目的にあったPCソフトを選び、ドキュメントを作成できる | | | | | | |
| | | | | | PCソフトを活用し、効果的な情報発信ができる | | | | | | |
| | | | | | 著作権や個人情報保護等、法令を順守したドキュメントを作成できる | | | | | | |
| 20L400 | ビジネスデータ活用1 | 武藤 玲路 | 1年次前期 | 表計算ソフトExcelの表計算・グラフ・データベース機能の演習を通して、検定試験の「日商PC検定データ活用3級・2級レベル」で必要とされる基本的な知識と技能を修得する。できるだけ独力で様々な場面での問題解決ができるような能力を身につけていく。 | Excelの「日商PC検定データ活用3級レベル」の能力を修得する。 | ○ | | ◎ | ○ | | |
| | | | | | Excelの「日商PC検定データ活用2級レベル」の能力を修得する。 | | | | | | |
| 20L410 | ビジネスデータ活用2 | 武藤 玲路 | 1年次後期 | 表計算ソフトExcelの表計算・グラフ・データベース機能の演習を通して、企業等の「ビジネス実務」で必要とされる基本的な知識と技能を修得する。できるだけ独力で様々な場面での問題解決ができるような能力を身につけていく。 | Excelの「基本的なビジネスデータ活用レベル」の能力を修得する。 | ○ | | ◎ | ○ | | |

令和2年度入学生 生活創造学科ビジネス・医療秘書コース カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

| 科目コード | 科目名 | 担当者 | 開講時期 | 科目の主題 | 到達目標 | 学修成果との関連(大◎、中○、小△) | | | | | |
|--------|------------|--------|-------|---|--|--------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------|---|--------------------------------------|--------------------------------------|
| | | | | | | 1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力 | | 2.「創造」 高度な知性と 創造力 | | 3.「実践」 明確な意思と 実践力 | |
| | | | | | | ① 誠 実 性 ・ 真 摯 性 | ② 多 様 性 ・ 協 働 性 | ③ 知 識 ・ 技 能 | ④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力 | ⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性 | ⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力 |
| 20L420 | ビジネスデータ活用3 | 武藤 玲路 | 2年次前期 | 表計算ソフトExcelの表計算・グラフ・データベース機能の演習を通して、事務職で必要とされる「社会調査法や特殊なグラフ」の基本的な知識と技能を修得する。できるだけ独力で様々な場面での問題解決ができるような能力を身につけていく。 | Excelの表計算機能による「社会調査法」の知識を修得する。 Excelのグラフ機能による「グラフ作成」の技能を修得する。 | ○ | | ◎ | ○ | | |
| 20L430 | 統計処理 | 森 弘行 | 2年次後期 | データを統計学的に分析する手法を理解する。 | 収集したデータを整理し、記述統計量を求めることができる 正規分布、t分布を理解し、平均値の信頼区間を求めることができる t分布、カイニ乗分布を利用した仮説検定を行うことができる 回帰式を理解し、変量間の関連性の検出や予測を行うことができる | | | ◎ | ◎ | | |
| 20L440 | 情報検索 | 濱口 なぎさ | 1年次前期 | 必要な情報の所在を知り、正しい方法で入手するための知識と技術を身につける | 参考図書を活用し、必要な情報を探すことができる インターネットを活用し、必要な情報を探すことができる 情報モラルについて理解する 収集した情報をまとめ、発信することができる | ◎ | | ◎ | ○ | | |
| 20L450 | データベース演習 | 濱口 なぎさ | 2年次後期 | データベースの仕組みを理解する。 | 身近にあるデータベースの役割を知る データベースの仕組みを知る 基本的なデータベースを作成する データベースの使い方を知る | | | ◎ | ◎ | | ○ |
| 20L460 | 時事研究 | 奈良 望 | 1年次前期 | メディア情報に習慣的に触れることによって現代社会の仕組みと問題点を理解し、社会人としての常識を身につける。 | ニュースに触れる習慣をつける。 時事問題を理解する基礎知識を持つ。 社会の仕組みを理解する。 将来の人生設計を試みる。 | ○ | | ○ | | ○ | |

令和2年度入学生 生活創造学科ビジネス・医療秘書コース カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

| 科目コード | 科目名 | 担当者 | 開講時期 | 科目の主題 | 到達目標 | 学修成果との関連(大◎、中○、小△) | | | | | |
|--------|-------------|-----------|-------|--|--|--------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------|---|--------------------------------------|--------------------------------------|
| | | | | | | 1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力 | | 2.「創造」 高度な知性と 創造力 | | 3.「実践」 明確な意思と 実践力 | |
| | | | | | | ① 誠 実 性 ・ 真 摯 性 | ② 多 様 性 ・ 協 働 性 | ③ 知 識 ・ 技 能 | ④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力 | ⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性 | ⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力 |
| 20L470 | 比較文化 | 奈良 望 | 2年次後期 | 幕末以後の約160年間、日米両国の関係は戦時も含め密接なものである。この近くて遠い国である米国について学ぶことによって、自国日本をより深く理解することを目指す。 | 米国の成り立ちを理解する。 日米の相違点及び共通点を知る。 視野を広げることによって日本への理解を深める。 世界の中での米国及び日本の立ち位置を知る。 | ○ | | ○ | | ○ | |
| 20L480 | オーラルイングリッシュ | タッド サンダース | 1年次前期 | Learn Practical English Skills. | Become comfortable when listening to basic English. Listen to simple conversation. Become a more active participant when speaking. Always do your best. | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 20L490 | TOEIC特講 | 奈良 望 | 1年次後期 | TOEICで求められている英語コミュニケーション能力の内容を理解し、その受験準備を通して総合的な英語力育成を目指す。 | 初歩英語からの再確認をする。 繰り返しにより英語環境に慣れる。 疑問点は調べ・質問する習慣をつける。 | ○ | | ○ | ○ | ○ | |
| 20L500 | 接客の英会話 | 奈良 望 | 2年次前期 | 現在年間3,000万人を超える日本へのインバウンド観光客は今後さらに増えることが予想されている。これらの人々との接点となるサービス産業従事者にとって英語によるコミュニケーションの必要性は一層高まることになるであろう。 | サービス業の現場で想定される会話の認識と練習の繰り返し。 業態への理解と求められるサービスへの理解。 英語表現の簡単さと数の多さを目指す。 長崎の観光・歴史にかかわる英語表現に慣れる。 | ○ | | ○ | | ○ | |
| 20L510 | 長崎観光概論 | 玉島 健二 | 2年次後期 | 本学卒業後、観光県長崎を支える社会人として必要な知識・素養を身に付ける | 長崎の歴史・文化及び観光全般についての理解を深める 本授業で学んだ内容を県外等からの来訪者に説明できる力を養う | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ○ |

令和2年度入学生 生活創造学科ビジネス・医療秘書コース カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

| 科目コード | 科目名 | 担当者 | 開講時期 | 科目の主題 | 到達目標 | 学修成果との関連(大◎、中○、小△) | | | | | |
|--------|---------------|-------|-------|--|---|--------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------|---|--------------------------------------|--------------------------------------|
| | | | | | | 1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力 | | 2.「創造」 高度な知性と 創造力 | | 3.「実践」 明確な意思と 実践力 | |
| | | | | | | ① 誠 実 性 ・ 真 摯 性 | ② 多 様 性 ・ 協 働 性 | ③ 知 識 ・ 技 能 | ④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力 | ⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性 | ⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力 |
| 20L520 | マナーとホスピタリティ | 沢 みつ子 | 1年次後期 | ホスピタリティとマナーの基本的な考え方を学び、円滑な人間関係を築く為に必要な態度と自己研鑽の習慣を身に付ける。礼節や接遇マナーの学習を通し、国際社会においても実践できるようにする。 | マナーとホスピタリティ及びプロトコルの基本的な考え方を知る 日本の日常生活において求められる、冠婚葬祭の果たす役割や、和の礼儀について理解する 社会人としての立ち居振る舞い、言葉遣い、服装などで、より良い自己演出ができるようにする 様々な職場における接遇マナーの実践方法を学習し、ホスピタリティ発揮の仕方を身につける 食事のマナーを身につける | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ |
| 20L530 | スピーチコミュニケーション | 高柳 篤江 | 1年次前期 | 自分の考えを正確に伝え、相手の考えを理解することにより、社会生活や人間関係の支えとなるコミュニケーション能力を高める。 | 人前で話すことに慣れる。 好感を得る話し方、態度を身につける。 話の組み立て方を学ぶ。 発声、発音練習により聞き取りやすい話し方になる。 聞く力を養う。 | | ◎ | ○ | ◎ | ○ | |
| 20L540 | 日本語表現 | 久林 康子 | 1年次後期 | 日本語の表現力(話す・書く・聞く)を養い、社会人としてのコミュニケーション能力を高める。 | 的確な話し方、記録のしかたなど基本的な表現技術を身につける 正しい敬語表現を理解し日常生活の場で実践できる 自分の考えを的確に表現できる 目的に沿ったプレゼンテーションができる | ○ | | ○ | ◎ | ○ | ○ |
| 20L550 | 社会心理学 | 武藤 玲路 | 2年次前期 | 社会心理学に関する知識と活用法を学び、「企業」におけるお客様との人間関係の形成と維持に役立てる方法を修得する。 | 社会心理学の代表的な理論と技法を理解する。 心理学をお客様との人間関係に役立てる方法を修得する。 | ○ | | ◎ | ○ | | |

令和2年度入学生 生活創造学科ビジネス・医療秘書コース カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

| 科目コード | 科目名 | 担当者 | 開講時期 | 科目の主題 | 到達目標 | 学修成果との関連(大◎、中◎、小△) | | | | | |
|--------|-------|--------|-------|--|--|--------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------|---|---|--------------------------------------|
| | | | | | | 1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力 | | 2.「創造」 高度な知性と 創造力 | | 3.「実践」 明確な意思と 実践力 | |
| | | | | | | ① 誠 実 性 ・ 真 摯 性 | ② 多 様 性 ・ 協 働 性 | ③ 知 識 ・ 技 能 | ④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力 | ⑤ 実 主 体 性 ・ 自 立 性 | ⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力 |
| 20L560 | 秘書概論 | 江頭 万里子 | 1年次前期 | 秘書について学び、オフィスワークの基本を理解する | 秘書の役割と業務を理解する | ○ | ○ | ◎ | | | |
| | | | | | 秘書業務に必要な知識と技能を理解する | | | | | | |
| | | | | | 職業人としての心構えを身に付ける | | | | | | |
| 20L570 | 秘書実務1 | 江頭 万里子 | 1年次後期 | 秘書業務に必要な知識と技能を身に付ける | 身だしなみを整え、相手や場に応じた言葉遣い・立ち居振る舞いができる | ◎ | | ◎ | | | ○ |
| | | | | | 基本的な来客対応の知識・技能を身に付ける | | | | | | |
| | | | | | 基本的な電話対応の知識・技能を身に付ける | | | | | | |
| | | | | | 正しく指示を受け、報告することができる | | | | | | |
| | | | | | 環境整備の仕方を知る | | | | | | |
| 20L580 | 秘書実務2 | 江頭 万里子 | 2年次前期 | 秘書業務に必要な知識と技能を身に付ける | 状況に応じた電話対応ができる | ◎ | ○ | ◎ | | | ○ |
| | | | | | 状況に応じた来客対応ができる | | | | | | |
| | | | | | 時間管理の知識を習得し、国内出張の旅程表を作成できる | | | | | | |
| | | | | | 会議のコーディネートの基本を身につける | | | | | | |
| | | | | | 慶弔・贈答の知識を身につける | | | | | | |
| 20L590 | 事務管理 | 吉井 健二 | 2年次後期 | 卒業後の就業に備えて、ビジネス実務における事務の基本的なスタンスとスキルを学びます。 | ビジネス実務において事務の基本やスキルを身につけ即戦力として対処できる人材を目指す。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | | | | | 企業の仕組み・事務管理について理解する | | | | | | |
| | | | | | 仕事文の書き方の基本を知る | | | | | | |
| | | | | | 社内文書と社外文書の基本を理解する | | | | | | |
| | | | | | 事務文書の保管・ファイリングについて理解する | | | | | | |

令和2年度入学生 生活創造学科ビジネス・医療秘書コース カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

| 科目コード | 科目名 | 担当者 | 開講時期 | 科目の主題 | 到達目標 | 学修成果との関連(大◎、中○、小△) | | | | | |
|--------|--------|-----------------|-------|--|-------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------|---|--------------------------------------|--------------------------------------|
| | | | | | | 1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力 | | 2.「創造」 高度な知性と 創造力 | | 3.「実践」 明確な意思と 実践力 | |
| | | | | | | ① 誠 実 性 ・ 真 摯 性 | ② 多 様 性 ・ 協 働 性 | ③ 知 識 ・ 技 能 | ④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力 | ⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性 | ⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力 |
| 20L600 | 簿記会計学1 | 吉田 高文 | 1年次前期 | 大学で習得すべき簿記や会計の基礎と初歩的な原価計算を学ぶ。この授業を通じて、損益計算書および貸借対照表の構造を理解し、精算表を作成できるようにする。 | 複式簿記の構造を理解する。 | ○ | △ | ◎ | △ | ○ | ◎ |
| | | | | | 簡単な財務諸表を作成できる。 | | | | | | |
| | | | | | 商業簿記と工業簿記の違いを理解する。 | | | | | | |
| | | | | | 日本商工会議所簿記検定試験3級の取得を目指す。 | | | | | | |
| 20L610 | 簿記会計学2 | 春野 良三 | 1年次後期 | 簿記会計学1で習得した基礎から発展させ、実際の検定問題を履修し2月の商工会議所簿記検定3級に合格させる。 | 日本商工会議所簿記検定試験で3級合格を目指す。 | | | ◎ | | | |
| 20L620 | 公衆衛生学 | 桑原 真美 山田 加奈子 | 2年次前期 | 疾病の発生要因の解明や現状・対策について理解する | 健康の概念と疾病予防の考え方を理解する。 | | | ◎ | ○ | | |
| | | | | | 社会や環境の変化が健康に与える影響を理解する。 | | | | | | |
| 20L630 | 薬学・衛生学 | 七條 和子 | 2年次後期 | 医薬品の性質や作用機序などの基礎的知識を理解する。わが国の医療・保険制度を理解する。 | 医薬品の性質や作用機序などの基礎的知識を理解する。 | ◎ | | ◎ | | | ◎ |
| | | | | | 医事・薬事に関する法体系・制度を学ぶ。 | | | | | | |
| 20L640 | 医学一般 | 安部 恵代 | 1年次前期 | 病気を通して、人体の解剖生理、生化学、病理学の基本を学ぶ。 | 生物としての「ヒト」の仕組みを理解する。 | | | | | | |
| | | | | | 主要疾患についての基本を理解する。 | | | ◎ | ◎ | | |
| | | | | | 人間の健康と自然環境・社会環境との関わりを理解する。 | | | | | | |
| | | | | | 医療保険、介護保険、学校保健、母子保健の仕組みを理解する。 | | | | | | |
| 20L650 | 臨床心理学 | 武藤 玲路 | 2年次後期 | 臨床心理学に関する知識と活用法を学び、「病院」における患者様との人間関係の形成と維持に役立てる方法を修得する。 | 臨床心理学の代表的な理論と技法を理解する。 | ○ | | ◎ | ○ | | |
| | | | | | 心理学を患者様との人間関係に役立てる方法を修得する。 | | | | | | |

令和2年度入学生 生活創造学科ビジネス・医療秘書コース カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

| 科目コード | 科目名 | 担当者 | 開講時期 | 科目の主題 | 到達目標 | 学修成果との関連(大◎、中○、小△) | | | | | |
|--------|--------|--------|-------|--|--------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------|---|--------------------------------------|--------------------------------------|
| | | | | | | 1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力 | | 2.「創造」 高度な知性と 創造力 | | 3.「実践」 明確な意思と 実践力 | |
| | | | | | | ① 誠 実 性 ・ 真 摯 性 | ② 多 様 性 ・ 協 働 性 | ③ 知 識 ・ 技 能 | ④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力 | ⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性 | ⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力 |
| 20L660 | 医療管理学 | 濱口 なぎさ | 1年次後期 | 医療事務職に必須の知識である、医療に関する制度や法律について学ぶ。 | 医療機関の種類と役割を理解する | | | | | | |
| | | | | | 日本の医療保険制度を理解する | | | | | | |
| | | | | | 医療法、医師法その他関連法を理解する | | | | | | |
| | | | | | 医療事務職に求められる素養について理解する | | | | | | |
| 20L670 | 医療事務論 | 尾崎 好子 | 1年次後期 | 医療知識を身に付け、診療報酬明細書を作成し正確に請求金額を算出する技術を理解する。 | 医療保険制度を理解する。 | | | | | | |
| | | | | | 医療事務に関する諸規則についての知識を習得する。 | | | | | | |
| | | | | | 医療知識を身に付け診療録(カルテ)を理解する。 | ○ | | ◎ | ○ | ○ | |
| | | | | | 患者に請求できる医療費を読み取る力を身につける。 | | | | | | |
| | | | | 正しい点数の算定、料金算定を明確に行う技術を養う。 | | | | | | | |
| 20L680 | 医療事務実技 | 尾崎 好子 | 2年次前期 | 医療知識を身に付け、診療報酬明細書を作成し、正確に請求金額を算出する技術を理解する。 | 医療保険制度を理解する。 | | | | | | |
| | | | | | 医療事務に関する諸規則についての知識を習得する。 | | | | | | |
| | | | | | 医療知識を身に付け診療録(カルテ)を理解する。 | ○ | | ◎ | ○ | ○ | |
| | | | | | 患者に請求できる医療費を読み取る力を身につける。 | | | | | | |
| | | | | 正しい点数の算定、料金算定を的確に行う技術を養う。 | | | | | | | |
| 20L690 | 医療情報学 | 森 弘行 | 1年次後期 | 医療分野における情報技術の利用を理解する。 | 病院業務について理解する | | | | | | |
| | | | | | 病院情報システムの構成と機能を理解する | | | | | | |
| | | | | | 電子カルテシステムについて理解する | | | | | | |
| | | | | | 医学研究情報システムについて理解する | | | | | | |
| | | | | | | | ◎ | | | ○ | |

令和2年度入学生 生活創造学科ビジネス・医療秘書コース カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

| 科目コード | 科目名 | 担当者 | 開講時期 | 科目の主題 | 到達目標 | 学修成果との関連(大◎、中○、小△) | | | | | |
|--------|--------------|-------------------------|-------|---|----------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------|---|--------------------------------------|--------------------------------------|
| | | | | | | 1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力 | | 2.「創造」 高度な知性と 創造力 | | 3.「実践」 明確な意思と 実践力 | |
| | | | | | | ① 誠 実 性 ・ 真 摯 性 | ② 多 様 性 ・ 協 働 性 | ③ 知 識 ・ 技 能 | ④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力 | ⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性 | ⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力 |
| 20L700 | 医事コンピュータ | 濱口 なぎさ | 2年次前期 | コンピュータによるレセプト作成の基礎を理解する。 | 日本医師会推奨のレセプトソフトORCAIについて理解する | | | | | | |
| | | | | | ORCAIによる基本的なレセプトソフトが行える | | | | | | |
| | | | | | レセプト作成に必要な用語について理解する | | | ◎ | ○ | | ◎ |
| | | | | | 手書きレセプトとの違いを理解する | | | | | | |
| 20L710 | 図書管理論 | 西田 聖子 | 2年次前期 | 診療録管理の基礎を理解する | 診療録とその意義、関連法規について理解する | | | | | | |
| | | | | | 診療録の管理業務について理解する | | | | | | |
| | | | | | 疾病および手術分類、国際疾病分類について理解する | △ | △ | ◎ | △ | ○ | △ |
| | | | | | 診療情報の活用、医療統計、DPC/PDPSの総論について理解する | | | | | | |
| 20L720 | 医療事務総合演習 | 西田 聖子 | 2年次後期 | 病歴記録管理士に必要な知識の再確認を行う。 また、医療現場における医療事務、診療情報管理士の業務内容を理解する。 | 医療制度・関連法規について理解する | | | | | | |
| | | | | | 診療情報管理について理解する | △ | △ | ◎ | △ | ○ | △ |
| | | | | | 医療事務作業補助者の業務内容を理解する | | | | | | |
| 20L730 | キャリアアップセミナー1 | 武藤 玲路 濱口 なぎさ 森 弘行 | 1年次通年 | 明確な目的意識を持って進路の選択・決定ができる能力や勤労観、職業観を身に付け、自立して「生きる力と人間力」を修得する。 | 自分の性格や能力や個性を明確に理解する(自己分析の基礎)。 | | | | | | |
| | | | | | 自分の意思や感情等を的確に相手に伝える(自己表現の基礎)。 | | | | | | |
| | | | | | 就職を希望している職場の受験対策をする(受験対策の基礎)。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◎ |
| | | | | | 就職を希望している職場の情報を収集する(職場研究の基礎)。 | | | | | | |
| | | | | | 社会に貢献できる人格の成長を目指す(就業力・貢献力の基礎)。 | | | | | | |

令和2年度入学生 生活創造学科ビジネス・医療秘書コース カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

| 科目コード | 科目名 | 担当者 | 開講時期 | 科目の主題 | 到達目標 | 学修成果との関連(大◎、中○、小△) | | | | | |
|--------|--------------|-------------------------|---------------|---|--|--------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------|---|--------------------------------------|--------------------------------------|
| | | | | | | 1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力 | | 2.「創造」 高度な知性と 創造力 | | 3.「実践」 明確な意思と 実践力 | |
| | | | | | | ① 誠 実 性 ・ 真 摯 性 | ② 多 様 性 ・ 協 働 性 | ③ 知 識 ・ 技 能 | ④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力 | ⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性 | ⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力 |
| 20L740 | キャリアアップセミナー2 | 武藤 玲路 濱口 なぎさ 森 弘行 | 2年次通年 | 明確な目的意識を持って進路の選択・決定ができる能力や勤労観、職業観を身に付け、自立して「生きる力と人間力」を修得する。 | 自分の性格や能力や個性を明確に理解する(自己分析の応用)。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◎ |
| | | | | | 自分の意思や感情等を的確に相手に伝える(自己表現の応用)。 | | | | | | |
| | | | | | 就職を希望している職場の受験対策をする(受験対策の応用)。 | | | | | | |
| | | | | | 就職を希望している職場の情報を収集する(職場研究の応用)。 | | | | | | |
| | | | | | 社会に貢献できる人格の成長を目指す(就業力・貢献力の応用)。 | | | | | | |
| 20L750 | フィールドワーク | 濱口 なぎさ 森 弘行 武藤 玲路 | 1年次・2年次 通年 | 学内外のプロジェクト等を通して、課題の解決策を企画検討し、同じ活動に参加する他者と協働して取り組む。これらの経験を通して、社会に貢献する活動力を獲得する。 | 社会の中から取り組むべき課題を見つけ出す | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | | | | | 課題に対して最適な解決策を考える | | | | | | |
| | | | | | 解決策の検討にあたって、専門知識を活用する | | | | | | |
| | | | | | 他者との必要な対人関係を築く | | | | | | |
| | | | | | プロジェクトへの責任感を持つ | | | | | | |
| 20L760 | 介護・救急法 | 田川 千秋 森 弘行 | 1年次・2年次 通年 | 緊急時の応急手当の基本、一次救命処置、高齢者・障がい者など援助を必要とする人の介助法を修得する。 | 人間の尊厳を理解し救急法(一次救命処置、急病、けが、きずの手当て、骨折の手当、搬送、救護)の実践ができる | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | | | | 車椅子・杖などの使い方を理解できる | | | | | | |
| | | | | | 車椅子、視覚障がい、聴覚障がいのある人への介護方法を理解できる | | | | | | |
| 20L770 | 手話講座 | 下瀬 和枝 | 1年次前期 | 聴覚障害者のコミュニケーション方法を学び、そのコミュニケーション方法の1つである手話を学ぶ事により、将来の仕事に役立つようにする | 相手の簡単な手話が理解でき、手話で挨拶、自己紹介ができる | ○ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ◎ |
| | | | | | コミュニケーションをする楽しさを知り、手話検定をめざすことができる | | | | | | |
| | | | | | 聴覚障害者の日常生活における課題とその方法を理解する事が出来る | | | | | | |
| | | | | | 聴覚障害者への簡単な窓口対応ができるようになる | | | | | | |

令和2年度入学生 生活創造学科ビジネス・医療秘書コース カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

| 科目コード | 科目名 | 担当者 | 開講時期 | 科目の主題 | 到達目標 | 学修成果との関連(大◎、中○、小△) | | | | | |
|--------|-----------|-------------------------|-------|--|---------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------|---|--------------------------------------|--------------------------------------|
| | | | | | | 1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力 | | 2.「創造」 高度な知性と 創造力 | | 3.「実践」 明確な意思と 実践力 | |
| | | | | | | ① 誠 実 性 ・ 真 摯 性 | ② 多 様 性 ・ 協 働 性 | ③ 知 識 ・ 技 能 | ④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力 | ⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性 | ⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力 |
| 20L780 | 病院実習 | 濱口 なぎさ 武藤 玲路 森 弘行 | 2年次前期 | 病院での学外実習を通して、医療事務の現場で求められる職業人としての資質や素養を修得する。 | 職員や患者と積極的に触れ合い、明確に自己実現する | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◎ |
| | | | | | 職場で自分に与えられた業務を正確で迅速に遂行する | | | | | | |
| | | | | | 向上心を持って自己実現のための職場研究に取り組む | | | | | | |
| | | | | | 社会人としての礼儀、服装、言葉遣い、態度で行動する | | | | | | |
| 20L790 | インターンシップ1 | 武藤 玲路 濱口 なぎさ 森 弘行 | 1年次前期 | 企業での学外実習の「基礎編1」であり、事務や販売、サービスの職場で求められる職業人としての資質や素養を修得する。 | 職場の人達と積極的に触れ合い、明確に自己実表現する | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◎ |
| | | | | | 職場で自分に与えられた業務を正確で迅速に遂行する | | | | | | |
| | | | | | 向上心を持って自己実現のための職場研究に取り組む | | | | | | |
| | | | | | 社会人としての礼儀、服装、言葉遣い、態度で行動する | | | | | | |
| 20L800 | インターンシップ2 | 武藤 玲路 濱口 なぎさ 森 弘行 | 1年次後期 | 企業での学外実習の「基礎編2」であり、事務や販売、サービスの職場で求められる職業人としての資質や素養を修得する。 | 職場の人達と積極的に触れ合い、明確に自己実表現する | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◎ |
| | | | | | 職場で自分に与えられた業務を正確で迅速に遂行する | | | | | | |
| | | | | | 向上心を持って自己実現のための職場研究に取り組む | | | | | | |
| | | | | | 社会人としての礼儀、服装、言葉遣い、態度で行動する | | | | | | |
| 20L810 | インターンシップ3 | 武藤 玲路 濱口 なぎさ 森 弘行 | 2年次前期 | 企業での学外実習の「応用編1」であり、事務や販売、サービスの職場で求められる職業人としての資質や素養を修得する。 | 職場の人達と積極的に触れ合い、明確に自己実表現する | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◎ |
| | | | | | 職場で自分に与えられた業務を正確で迅速に遂行する | | | | | | |
| | | | | | 向上心を持って自己実現のための職場研究に取り組む | | | | | | |
| | | | | | 社会人としての礼儀、服装、言葉遣い、態度で行動する | | | | | | |

令和2年度入学生 生活創造学科ビジネス・医療秘書コース カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

| 科目コード | 科目名 | 担当者 | 開講時期 | 科目の主題 | 到達目標 | 学修成果との関連(大◎、中○、小△) | | | | | |
|--------|-----------|-----------------------------------|-------|---|--|--------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------|---|--------------------------------------|--------------------------------------|
| | | | | | | 1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力 | | 2.「創造」 高度な知性と 創造力 | | 3.「実践」 明確な意思と 実践力 | |
| | | | | | | ① 誠 実 性 ・ 真 摯 性 | ② 多 様 性 ・ 協 働 性 | ③ 知 識 ・ 技 能 | ④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力 | ⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性 | ⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力 |
| 20L820 | インターンシップ4 | 武藤 玲路 濱口 なぎさ 森 弘行 | 2年次後期 | 企業での学外実習の「応用編2」であり、事務や販売、サービスの職場で求められる職業人としての資質や素養を修得する。 | 職場の人達と積極的に触れ合い、明確に自己実表現する 職場で自分に与えられた業務を正確で迅速に遂行する 向上心を持って自己実現のための職場研究に取り組む 社会人としての礼儀、服装、言葉遣い、態度で行動する | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◎ |
| 20L830 | プレゼминаール | 武藤 玲路 濱口 なぎさ 森 弘行 | 1年次通年 | 1. 長崎県内の地域問題に着目し、その問題の原因となる課題を発見し、論理的な思考と手法で解決する問題発見・問題解決の能力を身につける。 2. 地域への奉仕活動と学習活動を統合させたコミュニティー・サービス・ラーニング(GSL)について学び、2年次のゼミナール活動の基礎となる知識や技能を身につける。 | 自ら課題を発見し、根拠に基づいた論理的思考で解決していく方法を見つけることができる 自分の考えを明確に表現し、他者とのコミュニケーションを円滑に進めることができる PCソフトを活用し、効果的な情報発信ができる | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 20L840 | ゼミナール | 濱口 なぎさ 森 弘行 武藤 玲路 江頭 万里子 | 2年次通年 | 1. この科目では困難な課題や想定外の事態に対して、原因となる問題を見出し、論理的な思考と手法で解決する問題発見・問題解決の能力を身につける。 2. 地域への奉仕活動と学習活動を統合させたコミュニティー・サービス・ラーニング(GSL)を実施し、地域交流・地域連携を通して地域貢献・地域振興に寄与する。 | 自ら課題を発見し、根拠に基づいた論理的思考で課題を解決していく「課題探求力」を身につける。 グループでのコミュニケーションやチームワークを通して作業を進めていく「人間関係力」を身につける。 調査・研究の結果をまとめ、明快なプレゼンテーションができる「自己表現力」を身につける。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 20L850 | 社会福祉概論 | 荒木 正平 | 2年次後期 | 栄養士・社会福祉主事に必要な社会福祉の基礎的知識、理論、法制度等を学び、人々の生活を支える栄養士・社会福祉主事としての役割や社会福祉のしくみ、対人援助の基本を修得する。 | 栄養士・社会福祉主事が社会福祉を学ぶ意義と目的を理解する。 社会福祉・社会保障の目的を理解し、法制度の体系についての基礎的知識を習得する。 社会福祉の援助方法、専門職の倫理に関する基本を理解する。 | ○ | △ | ◎ | ○ | | |